

松戸市地域福祉計画

平成18年3月

松戸市

ごあいさつ

21世紀を迎えました今日の地域社会におきましては、生活上のさまざまな問題が表面化しております。本格的な少子高齢社会や核家族化の進展、人々の価値観の多様化、ライフスタイルの変化などが背景にあるものと考えております。



松戸市では、市民の生活課題を解決するために、これまでもさまざまな施策を展開してまいりました。福祉の分野に関しまして、いま市民の皆様が求めているものは、提供されるサービスに合わせた生活をするのではなく、一人ひとりの生活にあったサービスを身近な地域で受けることができる、いわば「オーダーメイド」の福祉ではないかと思えます。

このように多様化し、また今後増大する福祉サービスに、行政のみでは対応が難しくなっており、行政や民間事業者によるサービス提供に加えて、地域での助け合い、支え合いが重要な位置を占めるようになり、従来の枠組みの変更が必要になっております。

こうした状況を踏まえ、市民と行政の協働により、すべての市民の皆様が尊厳をもって家庭や地域の中で安心して暮らせるようなまちづくりを目指し、「松戸市地域福祉計画」を策定いたしました。

地域福祉を推進するためには、市民一人ひとりの積極的な参加が欠かせません。本計画の推進にあたっては、市民の皆様の声を聞きながら、共に手をたずさえ、全力で取り組んでまいります。

最後に、長期間にわたり策定作業を行っていただきました松戸市地域福祉計画策定委員の皆様、心から感謝を申し上げます。また、「地域福祉を考える市民懇談会」等で貴重なご意見をいただきました市民の皆様並びに、関係団体の皆様に御礼を申し上げます。

平成18年3月

松戸市長 川井敏久

計画によせて

地域福祉計画がこれまでの行政計画と大きく異なる点は、計画策定過程における住民参加が法律上規定されていることです。言い換えれば、地域住民の参加がなければ策定できない計画ということになります。



「松戸市地域福祉計画」の策定に際しても、市民や関係団体の代表、学識経験者による策定委員会が中心となり計画づくりを行いました。また、市内4地区での「地域福祉を考える市民懇談会」、計画案段階での意見募集や説明会の開催などにより、市民の抱える生活課題の把握及び計画策定への市民参加に努めてまいりました。

本計画は、「みんなで築く福祉のまち」を基本理念に掲げています。そこには、市民一人ひとりが地域福祉の担い手として積極的にまちづくりに参加していただきたいという願いが込められています。

そのような、市民の自発的な地域活動を基盤とする地域福祉への取り組み方は、地域ごとに同じである必要はありません。大切なのは、“いつまでもこのまちで暮らしたい”“地域のために何かしたい”という想いを持つ人々が集い、行政や関係団体などと力を合わせ、より良い地域社会をつくっていくことではないでしょうか。今後地域福祉をすすめる活動に、本計画が方向性を示すことができれば幸いです。

最後に、精力的に検討を重ねてきた策定委員会の委員の皆様をはじめ、関係各位に心からお礼を申し上げます。

平成18年3月

松戸市地域福祉計画策定委員会 委員長

松戸市医師会長 内田利男

目次

第1章	計画の概要	1
1	計画の背景　～なぜ、いま地域福祉なのか～	2
2	目標と理念	4
3	計画策定にあたっての取組み	9
4	計画の位置付け	13
5	計画の期間	17
6	松戸市の概況	18
7	施策の体系	22
第2章	安心して暮らせるまちづくり	25
1	障壁のないまちづくり	26
2	快適な生活環境づくり	28
3	健康づくり	31
4	地域医療の充実	34
5	地域での防犯・防災・安全対策	36
6	ニーズ把握の場づくり	39
7	相談援助・情報提供の仕組みづくり	41
8	利用者本位のサービスの提供・福祉サービスの質の向上	43
第3章	自立と参加の促進	47
1	制度ボランティア活動の充実	48
2	生涯学習の推進	52
3	就労の支援	54
4	地域福祉推進の人材の確保と育成	56
5	障害者の自立への支援サービスの充実	59
6	権利擁護	61
7	子どもや高齢者への虐待等の対応	65

第4章 支え合い共に生きるまちづくり 67

- 1 当事者団体への支援 68
- 2 ボランティア・NPO活動への支援 70
- 3 社会福祉協議会 72
- 4 地域での声かけ見守り 74
- 5 地域での交流・ふれあいの場づくり 77
- 6 子育て支援 80
- 7 外国人との交流 82
- 8 ホームレス対策の検討 84

第5章 福祉文化の創造 85

- 1 心のバリアフリー 86
- 2 世代間交流 88
- 3 福祉教育の推進 90
- 4 伝統的文化活動の育成 92

第6章 計画の推進 95

- 1 推進体制の確立 96
- 2 地域資源の活用 103
- 3 財源の確保 108

第7章 今後の計画の推進のために これまでの活動事例 111

- 1 孤独死ゼロ作戦 113
- 2 稔台地区、小山地区でのモデル事業 119
- 3 高齢者支援連絡会 127

資料編 141